J.SPRINGS

取扱説明書
INSTRUCTION

多針・レトログラード

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご愛用くださいますようお願い申しあげます。なお、この取扱説明書はお手もとに保存し、必要に応じてご覧ください。

⚠警告	取扱を誤った場合に、重傷を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示しています。
⚠注意	取扱を誤った場合に、軽傷を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示しています。

ルミネッセンスについてのご注意とお願い

「ルミネッセンス」は、放射能等の有害物質をまったく含んでいない、環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）物質です。ルミネッセンスは太陽光や照明器具の明りを短時間（約10分間:500ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約3～5時間）光を放つ夜光です。
なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度（明るさ）は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合により、光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

（照度データ）	［目安値］
太陽光	［晴天］100000ルクス
	［曇天］10000ルクス
屋　内	［晴天］3000ルクス以上
（昼間窓際）	［曇天］1000～3000ルクス
	［雨天］1000ルクス以下
照明（白色蛍光灯40Wの下で）	
	［1m］1000ルクス
	［3m］500ルクス（通常室内レベル）
	［4m］250ルクス

電池についてのお願いとご注意

1. 最初の電池

この時計にセットされている電池は、工場出荷時に組み込まれているモニター電池ですので、電池寿命に満たないうちに容量が切れることがありますのでご了承ください。

2. 電池交換

①電池交換はお早めに、最寄りの時計販売店で行ってください。
②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因となりますので、お早めに交換してください。
③電池交換は、保証期間内でも有料となります。

⚠警告

- この電池は充電式ではないので、絶対に充電しないでください。誤って充電した場合、電池の破裂、液漏れ、破損の危険があります。
- 裏ぶたを故意に開け、電池を取り出さないでください。
- やむを得ず時計から電池を取り出した場合は、直ちに幼児の届かぬ場所に保管してください。
- 幼児が万一飲み込んだ場合は、危険ですので直ちに医師にご相談ください。

⚠注意

- 常温（5℃～35℃）から外れた環境で長時間保存しないでください。電池寿命が短くなったり、電池漏液による故障などの原因となる場合があります。

製品仕様

1. 水晶振動：　32,768Hz
　（Hz=1 秒間の振動数）
2. 携帯精度：　平均月差約 ±20 秒
　（気温5℃～35℃において）
3. 作動温度範囲：−5℃～+50℃
4. 駆動方式：　ステップモーター式
5. 使用電池・電池寿命：
　小型酸化銀電池（SR626SW）
　電池寿命3年
6. 電子回路：　C-MOS-LSI　1 個

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

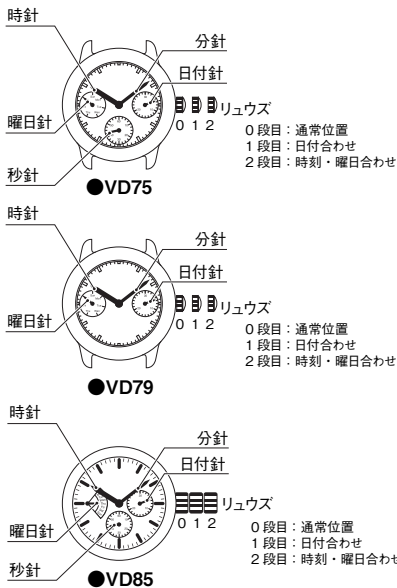
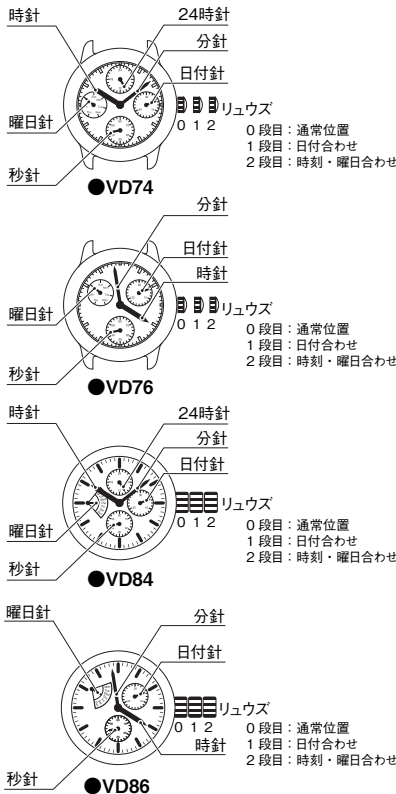
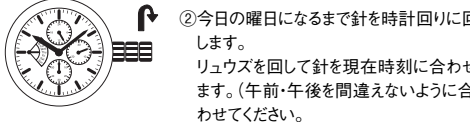
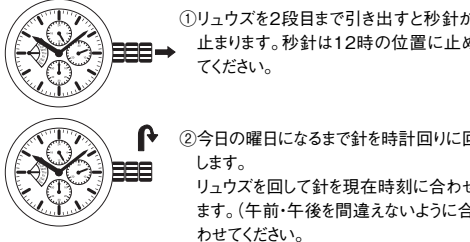
VD74/VD75/VD76/VD79/VD84/VD85/VD86の使いかた

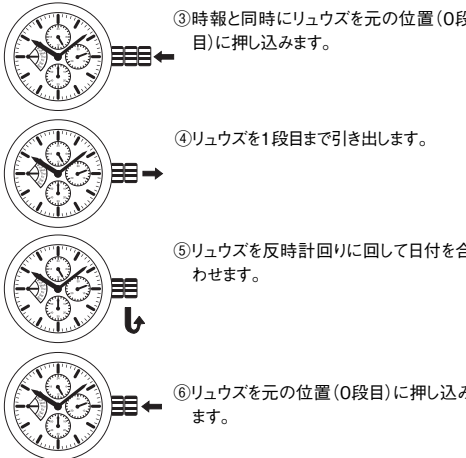
これらのモデルには曜日窓があります。VD74/VD75/VD76/VD79は曜日窓が丸型、VD84/VD85/VD86は扇型ですが、使用方法は同じです。下記は代表して扇型モデルで説明しています。

各部の名称とはたらき

時刻・日付・曜日の合わせかた

①リュウズを2段目まで引き出すと秒針が止まります。秒針は12時の位置に止めてください。

②今日の曜日になるまで針を時計回りに回します。
リュウズを回して針を現在時刻に合わせます。（午前・午後を間違えないように合わせてください。

※曜日針を続けて進めるには、曜日が変わった後に時分針を4～5時間戻し、また時分針を進めると曜日針を早く進めることができます。曜日針はリュウズを反時計回りに回しても戻りません。
※午後10時から午前2時の間は、日付を合わせないでください。曜日が正確に変更されないことがあります。もしその時間帯に日付を変更しなければならない場合は、まず違う時間帯に針を動かしてから日付を合わせ、その後正確な時間を合わせてください。
※時刻を合わせるとき、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻し合わせててください。

③時報と同時にリュウズを元の位置（0段目）に押し込みます。

④リュウズを1段目まで引き出します。

⑤リュウズを反時計回りに回して日付を合わせます。

⑥リュウズを元の位置（0段目）に押し込みます。

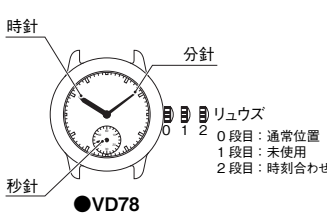
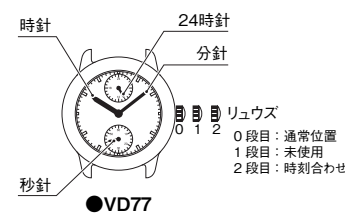
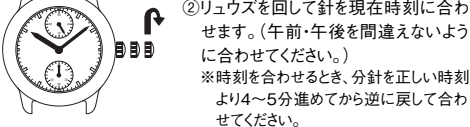
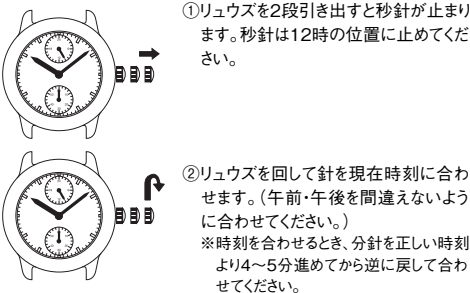
VD77/VD78の使いかた

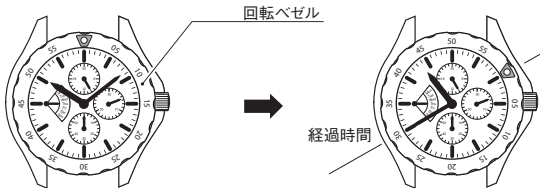
各部の名称とはたらき

時刻の合わせかた

①リュウズを2段引き出すと秒針が止まります。秒針は12時の位置に止めてください。

③時報と同時にリュウズを元の位置（0段目）に押し込みます。

②リュウズを回して針を現在時刻に合わせます。（午前・午後を間違えないように合わせてください。）
※時刻を合わせるとき、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせてください。

回転ベゼルの使いかた

下図は、10時10分計測開始（▽位置）後、30分経過したことを示しています。

回転ベゼル

経過時間

●経過時間の測定

回転ベゼルを動かし、▽マークを分針に合わせてください。ある時間が経過した後に、分針の示す回転ベゼル上の目盛を読めば、その時までの経過時間がわかります。

※回転ベゼルは、時計と逆まわりしか回転しません。また、クリック装置が付いていますので、目盛のセットがしやすいと同時にショックなどで不用意に回転することを防ぎます。

使用上のご注意とお手入れの方法

●装着・携行等でご注意いただきたいこと

⚠警告

- 携行時の転倒や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬけがを負う場合がありますのでご注意ください。
- 乳幼児を抱いたりする場合は、時計との接触でけがを負ったり、アレルギーによるかぶれを起こしたりする場合がありますのでご注意ください。
- 提げ時計やペンダント時計の場合は、ひもやチェーンによって大切な衣類や手、首などの身体を傷つけることがありますのでご注意ください。
- 装着状態の動作によっては、時計が大切な器物と接触損傷したり、時計の故障となる可能性があるので取り扱いには十分ご注意ください。

⚠注意

- バンド中留部の構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

●日常のお手入れ

⚠注意

- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくと錆で衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となりますので常に清潔にしてご使用ください。
- 時計を外した時は、柔らかい布で汗や水分を拭き取るだけで、ケース・バンド・パッキンなどの寿命が違ってきます。
- 化学薬品(ベンジン、シンナー、アルコール類、洗剤等の有機溶剤)で洗うと、化学変化で時計が劣化することがありますので、ご注意ください。
  〈革バンド〉
  柔らかい布などで水分を吸い取るように軽く拭いてください。こすするように拭くと色落ちしたり、ツヤがなくなったりする場合があります。
  〈金属バンド〉
  柔らかい歯ブラシなどを使い、部分水洗いなどのお手入れをお願いします。洗浄後は吸湿性の良い柔らかい布で水分を十分にふき取ってください。非防水時計の場合は、時計本体に水分がかからないようにご注意ください。
  〈軟質プラ製バンド〉
  蛍光灯や太陽光の下に長時間放置したり、汚れが染み込んだりすることによって、色あせ・変色や硬くなったり切れたりする場合があります。特に、半透明のウレタン製のバンドは、変色が目立ちやすく、使用条件によっては数ヶ月で起こり始める場合があります。湿気の多い場所に保管したり、汗や水に濡れたまま放置しておくと、早く変化することがありますので、汚れた時は、石けん水で洗ってください。バンドは化学合成製品ですので、溶剤によっては変質することがありますのでご注意ください。

●かぶれやアレルギーについて

⚠注意

- バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
- かぶれの原因として考えられるのは、
  ①金属・皮革に対するアレルギー
  ②時計本体やバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
- 万一肌などに異常が生じた場合は、ただちに使用を中止して、医師にご相談ください。

●防水性能

時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。

時計の防水表示	防水の水準 ＼ 使用例		洗顔や雨など一時的にかかる水滴	水泳や水仕事など長時間水にふれる場合	空気ボンベを使用しないスキンダイビング	空気ボンベを使用する本格的な潜水およびヘリウムガスを使用する潜水(飽和潜水)	水滴がついた状態でのボタンの操作	水滴がついた状態でのリュウズの操作
WATER RESISTANTの表示のない時計	非防水		×	×	×	×	×	×
WATER RESISTANTの表示のある時計	日常生活用防水		○	×	×	×	×	×
WATER RESISTANT 5·10·15·20ATMの表示のある時計	日常生活用強化防水	5気圧防水	○	○	×	×	○	×
		10·15·20気圧防水	○	○	○	×	○	×

⚠警告

- 日常生活用強化防水(10·15·20気圧防水)の時計は、飽和潜水や空気潜水には絶対に使用しないでください。
- 日常生活用強化防水(5気圧防水)の時計は、素潜りを含め、すべての潜水行為には絶対に使用しないでください。
- 日常生活用防水(3気圧)の時計は、水の中に入れてしまうような環境では絶対に使用しないでください。

⚠注意

- 日常生活用強化防水の時計を海水等の環境下でのご使用後は、なるべく早く塩分などを洗浄しください。錆の原因となる場合があります。
  水道蛇口下での洗浄は、過度な水圧が加わり、防水不良の原因となる場合がありますので、容器内洗浄で過度な水圧が加わらぬように注意してください。
- 革バンドは材質の特性上、水にぬれると耐久性に影響が出る場合があります。

●保管について

時計を使用しない時は、次の事項が、時計の破損や劣化、故障の原因等となる場合がありますのでご注意ください。

①「−5℃〜+50℃からはずれた温度」環境下では、性能が劣化したり、停止する場合があります。
②直射日光の当たるところ、高温になるところ、低温にあるところに長時間置くと時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
③磁気の影響(テレビ、スピーカ、携帯電話、磁気ネックレス等)があるところに放置すると、時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
④強い振動のあるところに放置すると、破損や時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
⑤薬品の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置すると時計の劣化や破損の原因となります。
　薬品例)ベンジン、シンナー、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ洗剤、接着剤、水銀、ヨウ素系消毒液、防虫剤など
⑥温泉入浴、殺虫剤の入った収納場所など、特殊な環境に放置すると時計の劣化の原因となる場合があります。
⑦長時間時計を外しておく時は、箱などに入れて、風通しのよい場所に保管することをお勧めします。

●定期点検について

- ながく安心してご愛用いただくために、2〜3年に1度程度の分解掃除による点検調整をおすすめします。
  ご使用状況によっては、機械部の保油状態が損なわれていたり、油の汚れなどによって部品が摩耗し、時計の進み、遅れが大きくなることがあります。また、パッキン等の部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。分解掃除による点検調整をお買い上げ店にご依頼ください。
- 電池交換などの部品交換の際は、「弊社指定の純正部品」とご指定ください。
- 定期点検の際は、パッキンやバネ棒の新品交換も合わせてご依頼ください。